

## 富山シティエフエム

### 令和 7 年度第 1 回～4 回番組審議会（合同開催）

#### 1. 開催日時

令和 7 年 9 月 3 0 日（火）午後 3 時 0 0 分～

#### 2. 開催場所

富山市安住町 2 - 14 北日本新聞社 10 階会議室

#### 3. 出席委員

委員総数 6 人

出席委員 6 人

出席委員の氏名（◎委員長、○副委員長）

◎武田 昭文（富山大学教授）

○大井 秀樹（富山商工会議所中小企業相談所長）

中田 至彦（富山市企画管理部広報課長）

倉川 有馬（富山青年会議所監事）

平島亜由美（北日本放送メディア本部報道制作局次長）

澤 聡美（富山大学准教授）

#### 放送事業者側出席者

中田 洋志（富山シティエフエム常務取締役）

小原 源（同 放送部長）

水上 啓子（同 スタッフ）

川田知恵美（同 スタッフ）

#### 4. 議題

##### ①開局記念特別番組内「街なかトークセッション」

放送：2025 年 7 月 20 日（日）13 時 25 分～14 時 00 分 生放送

##### 【番組内容】

昨年に続き「人と人、人と街をつなぐ」をコンセプトに「ツナグラジオ」企画特番を実施。今年は 28 周年に絡め、タイトルを「ツにゃグ○ラジオ」とし 2 日間に渡り富山市中央通りからの公開生放送を実施。レギュラー市民パーソナリティの出演、会場「まちなかフェス」の紹介ほか、今年は新企画として「街」トークセッションを実施。ベテラン世代から若者世代までが集い、それぞれが思う街、理想の街、未来の街について話し合った。

出演は堺勇人（PEC とやま常務理事兼事務局長。この時間のナビゲーター）、小泉睦子（会場の Tsunag.代表）、水林慶子（光教寺住職）、薬師子龍（高 3「輪音」代表）、山田大誠・鵜飼涼（大学生「あなろまっち」メンバー）

### 【委員の意見】

聴きごたえがあった。各世代が集まる人選が良い。年代ごとの「街」の捉え方の違いが良く分かり面白かった。「街に行く目的」が話題になっていて、お金を使わなくても集まる場所とは、など考えさせられた。

街づくりというとハード面が強調されるが、ソフト面からのアプローチがとても良かった。BGMが大きい箇所があり、気になった。

### ②「こぶじめの味わいたいむ」

放送：2025 年 7 月 6 日（日）9 時 30 分～ほか 30 分録音番組

### 【番組内容】

富山にUターンした「こぶじめ」こと野澤清久さんが日々の出来事とともに懐かしい名曲・主題歌・CM 曲や、自作曲をお送りしている。

提出回は放送 100 回記念回で初めてゲストをスタジオに迎えた。県内で活動するシンガーソングライター長澤みゆきさんと、2 人の出会い、長澤さんが音楽を始めたきっかけ、オリジナル CD 制作の思いなどをトークし、オリジナル曲も流した。

### 【委員の意見】

少し世代が上の人向けなので、安心してゆっくり聴ける番組だった。こぶじめさんのトークの間が良かった。100 回記念と言いながら、気負わず普段通りの感じがよかった。ゲストのシンガーソングラ

イターのＣＤにかける思いは、その世代だからこその話だと思った。ゲストの人柄も声からちゃんと伝わってきて、良い雰囲気だった。

### ③「とやまの昔話」

放送：2025 年 6 月の毎週木曜 8 時 10 分～ほかの中で 3 回／月 放送

#### 【番組内容】

ボランティアグループ「とやま語りの会」が、県内に伝わる民話や伝説を紹介。会は、こども園や児童館、富山市民俗民芸村合掌館の「いろりを囲むおはなし」で、幼児から大人までを対象に民話や伝説を語り伝える活動を行う。

提出回は「祖父谷（じじだに）と祖母谷（ばばだに）」。語りは、会代表の奥井悦子さん。

#### 【委員の意見】

奥井さんの語りがすばらしい。ネイティブな富山弁が心地よい。若い世代に富山弁を継承する意味でも続けてほしい。映像が無い分、声（語り）だけでより話に引き込まれる。アーカイブにして有効活用してほしい。このような活動をしている会があることを知ることができたのは良かった。

### ④金曜日のメッセンジャー

放送：2025 年 6 月 13 日（金）13 時 20 分～13 時 50 分 生放送

#### 【番組内容】

毎週金曜に放送する「週末🌀金曜便」内のコーナー。個性豊かなメッセンジャーが週替わりに登場し、普段の活動、最近気になることなどについてトーク。提出回は、第 2 週担当の新村こうじみそ商店の新村弘之さんによる「いつも元気ー!」。新村さんの元気の源、大人になって初めて知ったこと、味噌店ならではの味噌の食べ方などを紹介。

#### 【委員の意見】

新村さんを知っているが、そのままの雰囲気、人柄で自然な感じが良かった。気軽に聞けて楽しかった。地元の味噌糰屋さんが出演し、まさに地域密着のラジオ局だと思った。このような人がいることに発見があった。これからも地元の人たちをどんどん紹介してほしい。掛け合いのパーソナリティも間が良く、次の展開へ行く話の流れが自然で、十分にメッセンジャーのパーソナリティ性を生かしていた。ラジオは「雑談」を聞く楽しさがあり、その感じがした。かつ「へえ〜」を感じさせる上手い「雑談」だった。

以上